



# 山層雲峡のビジュタニセンター



【樹液つらら～3月】「イタヤカエデ」から樹液が滴り落ち、朝晩の低温で凍って「つらら」の状態、まさしく「樹液つらら」が出来上がっていました。日中気温が上がることで、さらに「つらら」から樹液が滴り落ち写真の「ハシブトガラ」「コガラ」「アカゲラ」「ゴジュウカラ」「シジュウカラ」「ヒガラ」、別の場所では「シマエナガ」「コゲラ」「ヤマガラ」等々が。時には「キタキツネ」「エソリス」までもが・・・。9割の野鳥は羽をはたかせ樹液に向かいますが、比較的体の大きな「アカゲラ」は樹木つたいに、また「ゴジュウカラ」と「コゲラ」も同様でした。地面は雪ですが、これがとけると今度は昆虫たちが寄ってきます。これ、ほんのり甘いんです。カエデシロップですね。



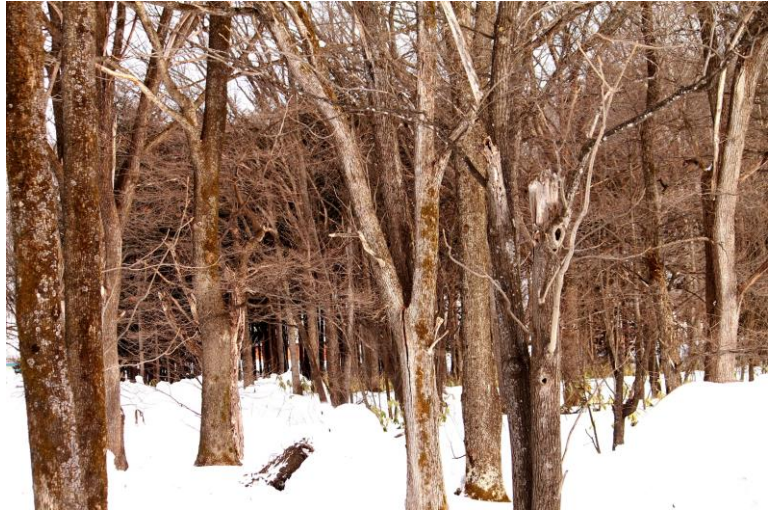
【霧氷～2月】冷却された細かい水滴が付着し、すぐに凍ってできた「白色氷」。実に神秘的な着氷現象です。わずかに息を吹きかけるだけで、はかなくも崩れ去ります。写真左下、わかりづらいですが、気温が上昇するにつれ徐々にとけだし、太陽に照らされることで特有の輝きを放った霧氷崩れ……。寒い地方ならではの「冬の風物詩」です。



【エゾシカ角～2月】スノーシューで散策中、雪面からわずかに出た「エゾシカの角」、持ち上げてみると簡単に角の全貌が……。写真右上がかなりの急斜面となっており、雪に脚をとられ転落死をしたようです……。掘り返しはしませんでした。軽く持ち上がったことからおそらく、カラスやオジロワシ等の「猛禽類」等々の犠牲になったようです。エゾシカにとって、オオカミの滅んだ今は「人間～狩猟」「深い雪」が天敵なのです。あの「か細い」脚では、雪をこいで歩くことは非常に大変なのです……。

【キタキツネ～3月】遠目にキツネを見つけたため低速走行……。案の定近寄ってきました。明らかに、以前から人間に餌をもらっているようです。威嚇をしながら追い払ってもそれでも離れない……。完全に人馴れしているようでした。キツネにとってはお菓子類等の甘さは下剤となり、免疫力が低下し身体のなかは虫(ダニ)だらけ。疥癬病(かいせん)という病にかかり、皮膚はボロボロ、しまいには眼も見えなくなり息絶えてしまいます。このキツネはまだ発症していないようですが、野生動物には餌やり厳禁です。どうかどうかよろしくお願い致します。





**【エゾモモンガ～3月】** 道路を走行中に、エゾモモンガが滑空しながら2匹、目の前を横切りました。モモンガは夜行性ですが、日の出とほぼ同時に排泄の為樹洞から出てきますので、早速翌朝にモモンガ探しに。雪の多いこの時期は、排泄痕を見つけるとその存在を見つけやすいですが、どこにも排泄痕がない…。とその時、2匹のモモンガがまた滑空しながら樹の高い場所へ。そう多くの回数は滑空しませんが、この2匹は滑空をしながら樹から樹への移動で樹洞の中へ。日中に確認してみると、なんと右の写真のわずかな空間で6ヶ所の樹洞がありました。外敵から身を守る術なのでしょうが、いかんせん、排泄痕がどこを探しても見当たりませんでした。樹洞に2匹となると、その排泄量も相当なものです。外敵にも見た目や臭いでバレバレですが、樹洞をかぎつけられないよう排泄も遠くで済ませているのかもしれませんが。



**【霜の花～2月】** 2月の寒い朝、センター前の日最低気温 $-25^{\circ}\text{C}$ ・日最高気温 $-11^{\circ}\text{C}$ 、上川町では日最低気温 $-27^{\circ}\text{C}$ ・日最高気温 $-12^{\circ}\text{C}$ を記録しました。このような日は写真の霜の花「フロストフラワー」を見ることができます。樹木にもびっしりと出来上がっており、眼でも寒さを感じるほどでした。条件は、気温 $-15^{\circ}\text{C}$ 以下・無風等々ですが、この霜の花、同じ形は一つもないことと、この現象の正体は「水蒸気の結晶」なのです。

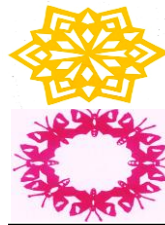


**【ベニヒワ～3月】** 前頭が赤色のベニヒワ、雪の中で見つけるとドキッとします。時期は冬鳥、日本では主に北海道に飛来し越冬します。鳴き声は「チューン」と特徴があり、通常は群れで見られますが、時には数千羽の大群に…。この日は「メマツヨイグサ～雌待宵草」の種子をついばんでいました。

2020年度・ビジター年間講座

4月には確定し皆様にご案内予定です。  
今しばらくお待ちくださいませ。

★★観察会は事前申し込みが必要です★★  
★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすテキ♪  
子供から大人まで楽しめます。  
参加自由・無料/申し込みは不要です

■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示 皆様のお越しをお待ちしております。  
【場所】ビジターセンターレクチャールーム  
(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

しきものカレンダー

上川・層雲峡気象↓		1月↓	
1/24	層雲峡降雪 2.5 cm	1/23	オジロワシ 上
1/28	上川町日最低気温 -2.1℃	1/25	キレンジャク、ツグミ 層
1/29	センター前 日最高気温がプラスに +2℃	1/26	エゾリス 上
1/30	上川町降雪 1.0 cm 上川町日最高気温 +1.9℃	1/28	ウソ、ベニヒワ群れ、シメ 上
1/31	1月降雪量 層雲峡 12.2 cm 上川 12.0 cm	1/29	オジロワシ 上
	昨年同月 層雲峡 20.2 cm 上川 16.5 cm		
		2月↓	
	1月積雪深 層雲峡 11.0 cm 上川 7.5 cm	2/2	オジロワシ、キレンジャク、シマエナガ 上
	昨年同月 層雲峡 9.8 cm 上川 4.7 cm	2/5	オオワシ 層
2/4	層雲峡降雪 1.5 cm 上川町 1.5 cm	2/7	オジロワシ 層
2/6	センター前 日最低気温 -2.3℃ 最高気温 -1.0℃	2/11	ヒガラ、ウソ、キバシリ、オオワシ 上
	上川町 日最低気温 -2.6℃ 日最高気温 -1.0℃	2/13	エゾモモンガ2匹 上
	日最低気温は2月観測史上7位	2/14	エゾユキウサギ 上
	場所によっては各家庭温度計で -3.0℃記録	2/15	オオワシ 上
	観測史上1位は1998年2月7日 -28.6℃	2/16	エゾモモンガ 上
2/7	上川町降雪 1.3 cm	2/18	エゾモモンガ 上
2/9	センター前日最低気温 -2.5℃ 最高気温 -1.1℃	2/19	ヒガラ、オオアカゲラ、ウソ雌雄 上
	上川町日最低気温 -2.7℃ 最高気温 -1.2℃	2/22	エゾユキウサギ 上
	上川町日最低気温2月観測史上3位	2/23	オオワシ、オジロワシ 上
2/13	上川町日最高気温プラスに 7.8℃ 2月観測史上5位	2/24	シマエナガ群れ、彩雲、クマゲラ 上
	センター前 日最高気温プラスに 4℃	2/25	キタキツネ、シマエナガ群れ、彩雲 上
2/14	センター前 日最高気温 +6℃	2/26	キタキツネ、彩雲 上
2/15	層雲峡降雪 1.0 cm	2/27	クマゲラ、ウソ 上
2/17	層雲峡降雪 1.6 cm	2/29	エゾユキウサギ 上
2/20	層雲峡降雪 1.0 cm 上川町 1.3 cm		
		3月↓	
2/23	層雲峡降雪 2.9 cm 上川町 1.8 cm	3/1	シマエナガ群れ、マヒワ、ウソ、ヤマガラ 上
2/29	2月降雪量 層雲峡 13.9 cm 上川 10.0 cm	3/2	シマエナガ群れ、ベニヒワ群れ、ヒガラ 上
	昨年同月 層雲峡 11.1 cm 上川 12.5 cm	3/3	キレンジャク、エゾモモンガ 上
	2月積雪深 層雲峡 12.2 cm 上川 6.7 cm	3/4	マヒワ群れ、シマエナガ群れ、オオワシ、キレンジャク 上
	昨年同月 層雲峡 12.9 cm 上川 8.0 cm	3/5	キレンジャク、ウソ 上
3/1	上川町降雪 1.0 cm	3/6	エゾユキウサギ 上
3/5	上川町日最大瞬間風速 21.8 m/s 3月観測史上4位	3/7	エゾクロテン、エゾリス 上
3/6	層雲峡降雪 1.6 cm	3/8	シマエナガ群れ 上
3/9	10日にかけて層雲峡・上川町降雨	3/9	エゾリス 上
	上川町日最高気温プラス 8.7℃	3/10	シマエナガ群れ、ヤマガラ、ヤマガラ 上
3/10	センター前 日最高気温 10℃ 上川町 8.8℃	3/11	エゾユキウサギ、キタキツネ 上
3/13	層雲峡降雪 1.7 cm 上川町 1.4 cm	3/12	クマゲラ 上
3/19	上川町 日最高気温 9.5℃	3/13	エゾユキウサギ、ウツつがい 上
3/20	層雲峡降雪 1.3 cm	3/14	ベニヒワ群れ、エゾリス 上
黒岳気象他↓		3/15	クマゲラ、オオアカゲラ、キレンジャク 上
2/22	七合目積雪 2.8.0 cm (整備終了、スキー場再開)	3/16	キレンジャク、エゾリス 上
2/25	七合目積雪 3.2.0 cm	3/17	クマゲラ、マヒワ群れ、シマエナガ群れ 上
3/2	七合目積雪 3.3.5 cm	3/18	クマゲラ 上
3/7	七合目積雪 3.5.0 cm	3/19	ヒグマ足跡 上
3/10	七合目積雪 3.1.0 cm	3/20	クマゲラ、エゾモモンガ 上
3/11	七合目積雪 3.0.0 cm		
3/14	七合目積雪 3.5.0 cm		
3/17	七合目積雪 3.5.5 cm		
3/19	七合目積雪 3.4.0 cm (昨年同日 3.2.0 cm - 昨年 4.8.5 cm)		

カレンダー期間 01/21-03/20  
観測地：上・上川 層・層雲峡

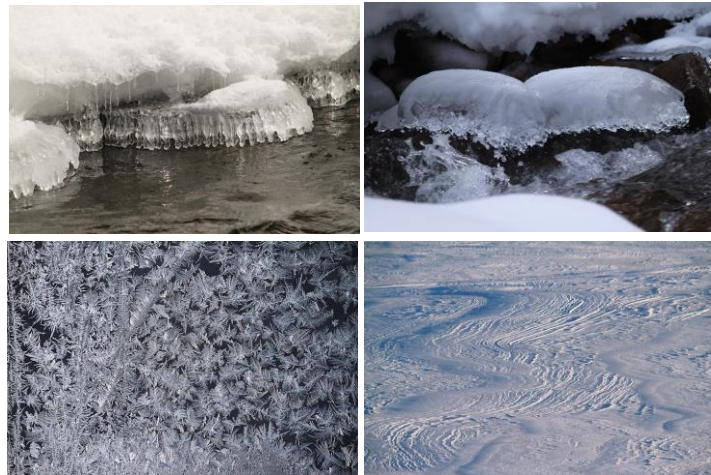
今日のキビたね



【クマゲラ～3月】日本産キツツキ類中、最大の種です。  
カラスよりやや小さめ。声で存在を知ることが多いですが、たまに「カケス」が真似をしてドキッとします。

冬の造形美(一部)：撮影2月～3月

上段：飛沫(しぶき)着氷 左下：寒霜 右下：風雪紋  
冬の自然現象は不思議ですね～。



発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.soukyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2020年03月25日発行 M・K

編集後記「新型コロナウイルス感染症」の影響で、恒例の「氷瀑まつり」が途中中止に追い込まれ、また3月には大手ホテルが休業を余儀なくされています。当センターの来館者も減少し、温泉街の人影もまばらな状態です。寒い冬ももうすぐ春へという段階で「外に出て自然観察を」というフレーズをこの時期は使用していましたが、中々そういった現状ではないことで皆様もストレス等を抱えている状況とご察しします。今回のセンターだよりは、そういった状況を少しでも和らげたいとの思いで、写真や文章を見て自然に対して興味が膨らむような題材にしてみました。是非ご一読いただけますと幸いです。センターだより担当・小林

白黒紙面でご覧の皆様へ～ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。